

# 磯の生物生態調査（和歌山）

## プロジェクト構成員

足利絵理子 有川美穂 石岡未来 今津尚之 上田貴昭 浦惇人 江川由記

## 指導教員

井伊博行（システム工学部）

## 【演習の背景・目的】

現在、子供たちの理科離れが進み、子供たちの活動の場が屋外から屋内に移り、自然とふれあう機会が減ってきている。そこで、恵まれた和歌山の自然の素晴らしさを地元の子供たちに改めて認識してもらうことを目的として、子供たちが和歌山の磯の生物について楽しく学べるホームページを作成し、和歌山の自然に興味をもってもらおう。



## 【演習の実施方法】

1. 作成するホームページの対象、方向性、具体的な内容をメンバーで話し合いをする。
2. 実際に和歌山の磯へ行きホームページを作成するにあたって必要な写真をデジカメで撮影する。
3. 和歌山県立自然博物館の協力の下、生物の種別などを行う。
4. 調査結果をまとめ、ホームページを作成する。
5. ホームページを公開する。

### ・ホームページの内容

対象は小学校高学年（5・6年生）とし、あまり磯に興味のない子供でも楽しく学べ、興味をもってもらえるよう、ゲーム感覚でバーチャルな磯遊び・調査を体験できるホームページにする。

また、その延長で磯についてのさまざまな知識がつけられるようにする。

### ・磯調査

前回、失敗に終わった雑賀崎、田辺、勝浦での調査の反省点をふまえて、博物館の学芸員の方と共に加太へ調査に行く。発見した生物をデジカメで撮影し、学芸員の方に種別、特徴、その他豆知識、などをレクチャーしていただく。

### ↓ 調査風景



### ・ホームページの作成

対象を小学校高学年とすることで、漢字に読み仮名をつけたり、難しい言葉を簡単に説明したりと注意を払いながらホームページを作成していく。私たちの調査の目的などが保護者の方や先生方へも伝わるようにホームページ内に保護者・先生向けのコンテンツを盛り込む。



## 【演習の成果】

現段階においてホームページは未完成である。

製作中のホームページは加太（和歌山市）の磯をメインとした内容であるが、今後紀伊半島の様々な磯を調査した時は、基部が出来ているこのホームページに喝采させていくことでホームページの内容がどんどん濃いものになっていく。

また、メンバー全員が1回生であり、自主演習を通して実際にフィールドワークを行うことで自主演習を通して様々な知識や経験、技術を得ることができた。

## 【今後の検討課題】

今回は、和歌山市加太の磯調査をメインとして活動してきたが、今後は前回失敗してしまった雑賀崎・田辺・勝浦へ再度調査を行いホームページを更新し、より内容の濃いサイトへと成長させていきたい。またホームページ内にアンケート等を設置してホームページを見た子供たちの磯に対する興味がどう変わったかなどを調べていきたい。

## 【感想】

私たちのプロジェクトメンバーは全員1回生であり、何の専門知識や経験のない状態から始まりました。

このプロジェクトの最初の計画段階では紀伊半島8箇所の生物を調査することでしたが、実際にやり始めると、かなり困難であり容易に出来ると思っていた私たちは世の厳しさを知りました。調査地の数を3箇所に減らして調査を行いました。専門知識不足で失敗という形に終わってしまいました。また、自然を相手にしていることもあり、干潮の時間や天候、メンバーの予定が合わないなど、なかなか思うように進みませんでしたが限られた時間のなかで協力し、なんとか調査内容を作品として残せるようになりました。思っていた通りの結果にはなりませんが、たくさんの失敗を繰り返すたびに少しずつではありますが、いろいろな知識や経験、技術などを学んでこれたことを嬉しく思います。





## 【謝辞】

私達の磯調査、及びホームページの作成において素晴らしいアドバイスをして頂くなど、協力して下さいました和歌山県立自然博物館の吉田誠学芸員様にメンバー一同心より感謝申し上げます。